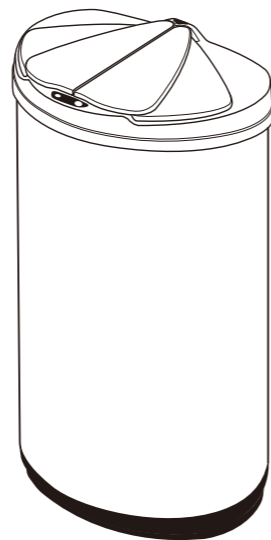


MAXZEN

人感センサー付き 自動開閉ゴミ箱 47L

日本国内専用
一般家庭・室内用



取扱説明書

JG047MT01

安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。



記号は、「禁止」(しないでください)を示します。



記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

警告・注意



絶対に改造、分解、修理をおこなわない

- 異常動作によるけがのおそれがあります。
- ※修理は製品に関するお問い合わせ先にご相談ください。



ふたに水をかけたり、水洗いはしない

- 電子機器部品が故障する原因になります。



ぬれた手で主電源スイッチを触らない

- 感電のおそれがあります。

本製品の使用用途以外に使用しない
一般家庭用として室内のみで使用し、
屋外では使用しない

電子レンジや省エネライトなどの電気製品の
近くで使用しない

- 使用に影響が出る可能性があります。

ふたを無理に閉じない

- 自動開閉のギアが故障する原因になります。

直射日光の当たる場所や、火気、暖房機のそば
などで使用しない

- 故障や熱による変形の原因になります。

子供のおもちゃとして遊ばせたり、使わせない

- 小さなお子様が使用する場合は、保護者の監視下で使用させる

製品の上に乗ったり、踏み台にするなど本来の
用途ではない使いかたをしない

- 破損・けがの原因になります。

製品を引きずらない

- 床が傷つく原因になります。

お手入れの際、センサー窓を傷つけないように
柔らかい布で拭く

- 自動開閉のセンサーが故障する原因になります。

設置の際は、必ず水平な場所に置く

- 転倒、破損の原因になります。



必ず守る

インジケータランプの色を確認し、電池残量
が少なくなったときは、速やかに電池交換をする

《電池残量不足》

- 羽根の動きがおかしいとき
- スタンバイ状態のときに、赤いランプが点灯しているとき
- ふたの開閉動作時にインジケータランプが緑色から赤色に変わるとき

電池セット上の注意

- 電池は単1形乾電池2本を使用し、正しい方向でセットしてください。
→電池ボックス内に刻印がありますので、確認してセットしてください。
- 電池ボックス内の電池接点部分のゴミやほこりは取りのぞいてください。
- 電池を交換するときは、2本一緒に新しい電池に交換してください。
→新旧の電池を一緒に使用しないでください。
- 違う種類の電池(アルカリ乾電池とマンガン乾電池)を一緒に使用しないでください。
- 使用済みの電池は早めに取り出し、新しい電池に交換してください。
→液漏れにより、電子機器部品が故障するおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
→液漏れにより、電子機器部品が故障するおそれがあります。

保証書

本書は、本書記載内容(無料修理規定に基づく)で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日より下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	人感センサー付き 自動開閉ゴミ箱 47L	品番	JG047MT01
		保証期間	本体お買い上げ日より1年
※お買い上げ日		年	月
お客様	お名前		
	〒 - 様		
販売店	お電話 ()		
	住所・店名		
電話 ()			

販売店様へ※印欄はお買い上げ日を必ずご記入のうえお渡しく下さい。
(販売店印がない場合は、領収書またはレシートを貼ってください。)

保証規約

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従って正常な使用状態で故障した場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえお買い上げの販売店まで修理をご依頼ください。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店にご依頼ができない場合は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料となります。
 - ① 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障や損傷。
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - ③ 火災、地震、水害、落雷その他天災地変や異常電圧による故障および損傷。
 - ④ 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑤ 本書の提示がない場合。
 - ⑥ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ⑦ 正規販売店以外(オークションや中古販売品、個人売買品、未開封の二次販売など)での購入の場合。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくはお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。
※この製品のスペアパーツをお客様にお届けできる期間は、製造終了後3年間までです。
(流通在庫の関係で期間内でもお届けできない場合があります。)

株式会社 丸隆

F151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

《お客様サポートセンター》TEL 0120-104-300

受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。

《メーカー保証について》

- ゴミ箱の本体、リング、ふたの破損や凹みは、初期不良を除き、保証の対象外です。製品のお取り扱いについては十分に注意してください。
- 地震、洪水、火災などの自然災害、第三者による行為、その他の事故についても補償の対象外になります。

お手入れのしかた

- 必ず「主電源スイッチ」をOFF (○) にしてから
お手入れしてください。



禁止

ふたの水洗いはしない

アルコール・シンナー・ベンジン
などは使用しない

- 激しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
- センサー窓は傷をつけないように柔らかい布で拭いてください。

- テレビ、ラジオ、ビデオ、コードレス電話、エアコンなどの機器から 1m 以上離してください。
テレビ画面のチラつきや、雑音が入るなどの電波障害が起こる場合があります

保管のしかた

- 長期間保管される場合は、本体の汚れをしっかりと拭き取り、水気が残らないように十分乾燥させてください。
- ふたから電池を取り出しておいてください。
- 袋に入れ、購入時に入っていた箱などに入れて、直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。

廃棄のしかた

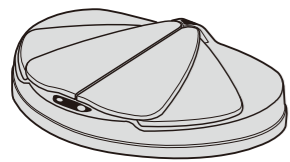
- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。

製品仕様

電源	単1形乾電池2本使用 ※別売り
本体重量	約3.1kg (電池含まず)
本体サイズ	約(幅)42.1×(奥行)27.8×(高さ)66.5cm
容量	47L
材質	ステンレス SUS430、ABS樹脂
生産国	中国

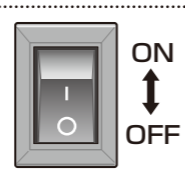
各部のなまえ・ご使用前の準備

■ふた

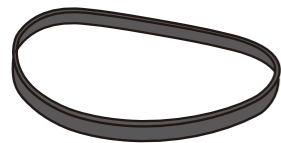


■ふた表(開)

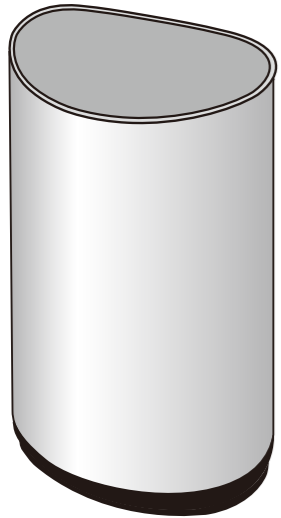
主電源スイッチ



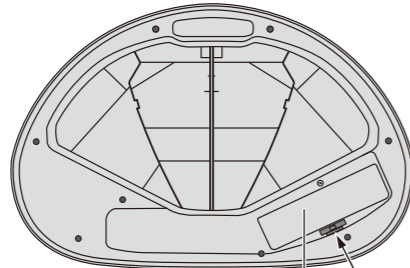
■リング



■本体

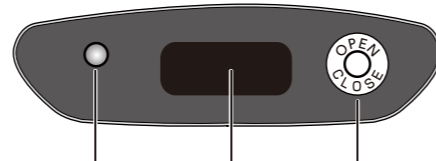


■ふた裏(閉)



電池ボックス つまみ
《単1形乾電池(別売)2本使用》

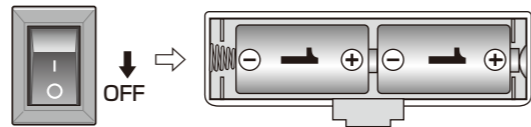
■ふた開閉センサー



インジケータランプ センサー センサーボタン

電池のセット

- 市販の単1形乾電池を2本ご用意ください。
- ①ふた背面の「主電源スイッチ」をOFF(O)にします。
- ②電池ボックスのカバーのつまみを押して外し、市販の単1形乾電池2本を電池ボックス内の刻印に合わせて正しい方向にセットします。
- ③電池ボックスにカバーをセットします。



使いかた

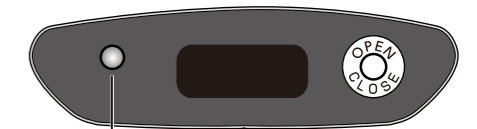
主電源を入れる

ふた背面の「主電源スイッチ」をON(I)にします。

- ふた開閉センサーのインジケータランプが、一瞬緑色に点灯して電源ONになります。

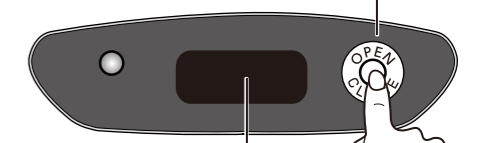


■ふた開閉センサー



インジケータランプ

センサーボタン



センサー

自動開閉モードの電源を入れる

センサーボタンを1回押して、自動開閉モードの電源をONにします。

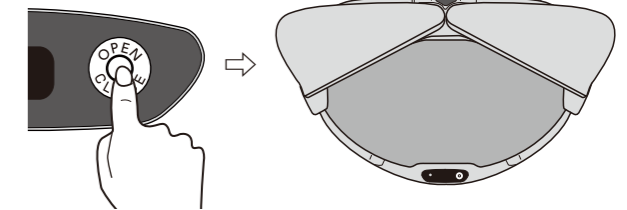
- インジケータランプが一瞬緑色に点灯してONになります。
- ゴミや手などをセンサーにかざすと、自動でふたが開き、手などがセンサー感知外になると、数秒後に自動でふたが閉じます。
- ゴミや手などがセンサー感知範囲にあると、ふたは開いたままになります。緑色のインジケータランプは点灯し続けます。
- ゴミや手などがセンサー感知範囲から離れると、インジケータランプが複数回緑色に点滅したのち、ふたは自動で閉じます。

ボタン開閉モード

センサーボタンを再度押すと、ボタン開閉モードがONになり、羽根は開ききった状態で停止します。

※開いた状態で停止しているときは、インジケータランプは点灯しません。

センサーボタンを再度押すと、ふたは閉じます。閉じた後は再び「センサー自動開閉モード」に戻ります。



センサー電源OFFのしかた

「主電源スイッチ」をON(I)の状態、センサーのみをオフにすることが可能です。センサーのみをオフにすることで、羽根が閉じた状態を維持できます。

スタンバイモード(主電源スイッチ ON・センサー自動開閉モード ON)のときに、センサーボタンを長押しすると、インジケータランプが赤く点灯して消えます。これでセンサー電源がOFFとなり、センサーに手をかざしてもふたは開きません。センサー自動開閉モードに戻るときは、再度センサーボタンを1回押しください。インジケータランプが一瞬緑に点灯して、センサー自動開閉モードに戻ります。

説明どおりに操作しても、ゴミ箱がうまく反応しない場合は、主電源スイッチをOFF(O)にし、電池ボックスから電池を取り出して再度、「電池のセット」を参照して電池を入れ直してください。

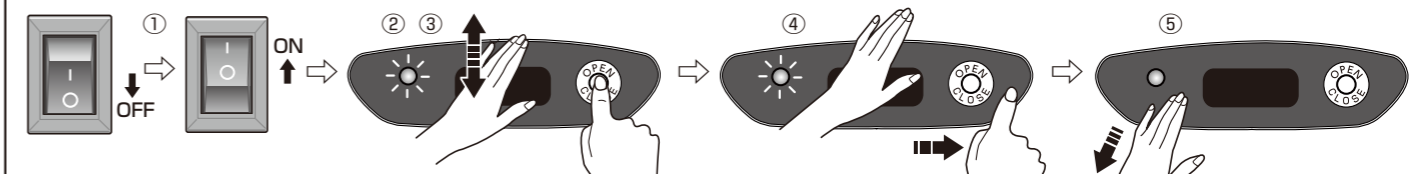
※主電源スイッチをOFFにして、数十秒後にセンサーの電源はOFFになります。

※主電源スイッチをOFFにして、すぐにONにするとセンサーの電源はONのままになっていることがあります。その場合、主電源スイッチを入れ直してもインジケータランプは点灯しません。

センサー感知範囲の調整のしかた

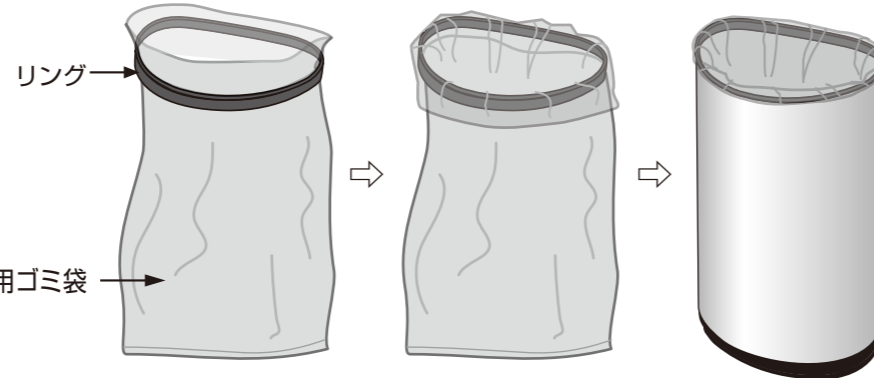
センサー感知範囲は、センサーから約6~30cmの範囲で調整することができます。(デフォルトの設定範囲は約25cmです。) センサー感知範囲の調整は、《主電源スイッチがONになっていて、センサーがOFFのときにだけ》開閉調整が可能です。センサー自動開閉モードになっている場合は、「センサー電源OFFのしかた」を確認し、センサー電源をOFFにしてから、センサー感知範囲を調整してください。

- ①ふたの背面の主電源スイッチをOFFにしてから、再度ONにします。
 - ②次に、センサーボタン長押ししたままにします。※インジケータランプが緑色と赤色に交互に点滅します。
 - ③長押ししたまま、もう片方の手をセンサーの上にかざし、約6~30cmの範囲で、設定したい高さを決めます。
 - ④高さが決まったら、手の位置は変えずに維持し、センサーボタンを押している手を離します。
 - ⑤インジケータランプが消えたことを確認してセンサーにかざしている手を離します。
- センサー感知範囲の設定がきちんとできているか確認してください。



1. 本体にゴミ袋セットする

- 1 45L用のゴミ袋を付属のリングに通し、ゴミ袋の口をリングに巻きつけます。

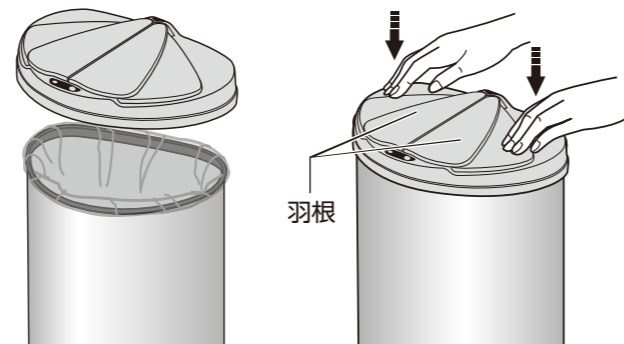


- 2 ゴミ袋を本体に入れ、リングを本体のフチにセットします。

※ゴミ袋が見えない構造になっています。

2. 本体にふたをセットする

- 本体にセットする際は、左右の羽根部分以外の場所を軽く押しながら確実にセットしてください。



注意

羽根部分は繊細なため、過度な力をかけないようにしてください。
→電子機器部品が破損するおそれがあります。